

科目名	現代メディア社会論 I	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディア環境が変化し、SNSによってかつて受け手や消費者だった立場が、容易に送り手・発信者となる現状がある。その為、受け手や消費者としての立場だけでなく、送り手や作る側からの視点を織り交ぜながら具体的な業界別に研究し、メディアの現状と課題を知る。学籍番号で二つに分かれている「現代メディア社会論 I」では、2度合同講義を行い、映像を使用しメディア研究をする。								
授業目的・到達目標	メディアが多様化するなかで、メディア環境は私たちの生活環境、社会環境と限りなく重複している。この講義では、メディアの現状と課題を理解することを目的とする。現代メディアに関する幅広い基礎知識と認識を習得することを目標とする								
履修条件	新聞学科に在籍、またはメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに関心を持っていること								
授業方法	映像や統計資料などを適宜使用する。また、授業日毎に授業の疑問点や意見、感想などを書く「リアクションペーパー」を提出させる。								
成績評価	種別	割合	評価方法						
	定期試験								
	平常評価	100%	授業内試験						
教科書	年	出版社	書名				著者名		
	2012年初版	NHKブックス 1196	図説 日本のメディア				藤竹 暁		
	備考								
参考書	伊藤守編『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房 橋元良明『メディアと日本人』岩波新書1298 佐藤卓己『メディア社会』岩波新書1022								
オフィスアワー	月曜～木曜日の13:00～18:00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。								

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	教科書を購入して、目次を読んでおく、また、自分の興味のある分野を読んでおく。
	授業内容	ガイダンス 今後の講座の進め方、合同講義、映像使用など。
	事後学習	授業進め方を受けて今後の授業の実施予定と授業日を調べ、自分なりの計画を立てる。
2	事前学習	テキストP15～31を読んでおく。
	授業内容	現代メディアの多様性 [テキストp. 15-31]
	事後学習	この講座テキスト「図説 日本のメディア」編著者 藤竹 暁氏の研究考え方が良く出ていて藤竹氏自身が書いた文章である。「送り手と受け手」といった従来のマスメディアとオーディエンスの二分法は成り立たなくなり、Webでは誰もが発信者になれる為、その責任も生じることを考えておく。
3	事前学習	テキストp. 236～261 を読んでおく
	授業内容	現代メディアの利用と環境 [テキストp. 236-261] : メディア利用と統計と自分のメディア利用を比較する
	事後学習	様々なメディアと人々がどう接しているか統計から読み解く章であったが、今後、大学の研究ではこうした発表統計や調査結果を複数使用し、数字から読み取れる様々な事象を比較検討する事を行う。表やグラフなどからどのような事が読み取れるかを今後応用する。
4	事前学習	テキストp. 34～56 を読んでおく。また、前日、当日の新聞を読んでおく。
	授業内容	新聞の多様性と仕組み [テキストp. 34-56]
	事後学習	日本の新聞史、新聞社の組織を理解しておく。学生諸君が何故、新聞を読まなくなったか、また新聞はなくなってしまった良いのかも考察しておく。

5	事前学習	テキストp. 56～64を読んでおく。また、前日、当日の新聞を読んでおく。
	授業内容	ビジネスとしての新聞 [テキストp. 56-64]
	事後学習	新聞社の経営（新聞は紙面製作と販売は別々に行われる）の特徴を知る。また、Web化を進めているが、簡単にすべてWebにはならない理由を知っておく。
6	事前学習	マスコミュニケーションが成立するためには、どういう社会状況や条件が必要か調べ、考えてみる。
	授業内容	マス・コミュニケーションの成立と近代 レポート課題提出
	事後学習	レポート課題について、調べたことと自らの考察は、分けて書く事。
7	事前学習	映画『薔薇の名前』について内容と中世の書物はどう扱われ、当時のどんな階層が読んでいたか調べておく。 講義講堂が普段と変わる場合があるので注意する事
	授業内容	合同開催講座 映画『薔薇の名前』一部上映：中世と書物の世界
	事後学習	映画の中で出てくる「情報・知識」としての書物が当時どんな意味を持っていたかを考察する。
8	事前学習	テキストp. 75～96について読んでおく
	授業内容	テレビの制度と構造 [テキストp. 75-96]
	事後学習	日本で65年が経つテレビ放送の歴史と発達変化、売上等の変化を知る。いままでのビジネススタイルは何故通用しなくなった来たかも合わせて知っておく。
9	事前学習	テキストp. 96-117について読んでおく
	授業内容	テレビを観ること作ること [テキストp. 96-117]
	事後学習	テレビの番組編成と災害時の情報源としての放送について考える。Web、SNSの発達との関係と役割のすみわけ等による情報の効率的な取得方法も考えてみる。
10	事前学習	映画『グッドナイト&グッドラック』について内容を調べ、「赤狩り」・レッドページ (red purge) とは何か知っておく。講義講堂が普段と変わる場合があるので注意する事
	授業内容	合同開催講座 映画『グッドナイト&グッドラック』：表現の自由とニュース
	事後学習	映画の内容と、表現の自由について考察する。
11	事前学習	テキストp. 65～74、p. 181～205を読んでおく
	授業内容	インターネットの普及と利用 [テキストp. 181-205] インターネットの普及とマス・メディア [テキストp. 65-74] 授業内レポート課題発表
	事後学習	新聞のデジタル化とインターネット利用について。合わせてインターネット利用の注意点と弊害も考える。
12	事前学習	テキストp. 263～281を読んでおく
	授業内容	ソーシャルメディアと社会 [テキストp. 263～281]
	事後学習	SNSは普段自分が使用しているものだが、落書きのように発信したものが、瞬時に世界を駆け巡る能力がある。年代別利用は若者はもちろん多いが、若者でもほとんど使わない人もおり、高齢層でも使っている人もいる。
13	事前学習	テキストp. 119～148、p. 207～234を読んでおく
	授業内容	出版／広告 業界の概要 [テキストp. 119～148、p. 207～234]
	事後学習	出版、広告業界もWebの波に押されている。特に変化の激しい広告業界は、伝統的な看板からスマートフォン利用の広告まで幅広い。業界の変化が速さを増していることを知る。
14	事前学習	これまでの授業の内容をまとめ、自分の意見を付けておく
	授業内容	授業内レポート執筆（60分）及びまとめ、振返り
	事後学習	書いたレポートの内容についてもう一度確認しておく。
15	事前学習	フェイクニュースとは何か調べておく。
	授業内容	「フェイク・ニュース」及び本講座のまとめ
	事後学習	「現代メディアの概論」としての本講座Ⅰを今後の学習研究に役立てるためにまとめておく。